

長久手市行政評価票

事業番号	114	事業の名称	消防・救助業務	担当部署	部 消防本部	課 消防署						
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(1)消防体制の強化、(2)地域消防防災力の強化	フラッグ フラッグ項目						
事業の概要	市民の生命・身体及び財産を火災、風水害等の災害から保護するとともに、これらの災害による被害を軽減し、市民生活の安全確保を図る。 初動体制の確保や統一的な指揮下での効果的な増援体制、消防本部の活性化を図るために必要な装備等の整備を推進し、実用に則した警防計画の樹立、消防、救助技術及び知識を習得するための消防訓練を実施し、的確な活動能力の向上を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年中の火災は、全国で48,095件で、1日当たり約132件、11分に1件の火災が発生したことになります。火災の種別は、建物火災が25,053件、車両火災が4,586件、林野火災が2,020件などとなっています。 (総務省消防庁概数) 本市では、平成25年中は、火災による死者は発生していません。 平成25年中の他市状況(火災件数) 瀬戸市57件 尾張旭市21件 日進市35件 豊明市28件 みよし市31件 東郷町24件							
事業期間	事業開始年度	昭和55年度	終了(予定)年度	継続	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民及び市内滞在者					うち	一般財源	7,602	6,579	7,471	7,873	6,713
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	出動要請に応じ、現場到着、現場活動等を迅速に行うとともに、消火救助技術を駆使して被害を軽減する。					うち	国費・県費	0	0	1,450	1,450	0
						うち	地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績			H26予算	H26決算				H27予算
① 消防・救助業務	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	出動要請に応じ、現場到着、現場活動等を迅速に行うとともに、消火救助技術等を駆使して被害を軽減する。	成果指標対象外					7,502	6,472	3,339 ・消防用資器材点検 460 ・空気ボンベ等充填 319 ・安全管理技能講習及び消防・救助隊員教育の受講 328	A	現行のとおり実施していく。災害時の初動体制の確保、効果的な増援体制の確保、機器装備品の充実な整備を推進し、警防計画の樹立、消防・救助現場に必要な知識及び技術の習得のための消防救助訓練、新人隊員育成の研修等を行うなど、活動能力の向上を図った。
② 自衛消防組織・自主防災組織と連携した消防訓練の実施	市民及び市内事業所に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	尾三・長久手市消防合同消防訓練 ・文化財防火デー消防訓練(石作神社) ・長久手市総合防災訓練(6小学校) ・消防署、消防団合同消防訓練(パークスクエア藤ヶ丘)	出火率 (人口1万人当りの出火件数)	2.9 3.2 3.5	件	全国平均より下回る		100	107	96 (訓練用資器材) 木材52 その他44	A	現行のとおり実施していく。消防活動及び救助活動の基本となる警防計画の策定を行い、見直しを行うための定期的に訓練を実施する。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
				具体的に妥当な計画値を示すことは困難である。